

2020年5月13日

各 位

会 社 名 芦森工業株式会社
代 表 者 名 取締役社長 鷺根 成行
(コード：3526, 東証第一部)
問 合 せ 先 取締役経理部長 百々 俊
(TEL 06 - 6105 - 1863)

新型コロナウイルス感染症の影響等に関するお知らせ

この度の新型コロナウイルス感染症に罹患された方々、感染拡大により影響を受けられた方々には心よりお見舞い申し上げます。

同感染症の拡大に伴う当社および当社グループの現況と業績への影響につきまして下記の通りお知らせいたします。

記

1. 感染拡大防止の対応状況について

国内の各事業拠点においては、現時点で従業員および関係者に感染の判明はなく、消毒の実施や手洗い、咳エチケットなどの一般的な感染予防対策の徹底のほか、出張の原則禁止、多人数の会議実施の自粛、時差出勤、可能な範囲内での在宅勤務の実施などの対策を講じた上で事業活動を継続しております。

海外の拠点では、各国の政府および地方自治体の指示・指導に基づき、オフィスの閉鎖や間接系従業員の在宅勤務の実施等の対応をしております。

2. 稼働状況

現時点（5月12日現在）における生産拠点の稼働状況は、以下の通りです。

日本	自動車安全部品事業の生産拠点では自動車メーカーの稼働状況に応じて、稼働停止（一時帰休）や一部ラインの停止等の対応を実施しております。今後も、自動車メーカーの稼働状況を注視し、稼働の調整を検討してまいります。 機能製品事業の生産拠点では稼働停止等の対応は行っておりません。
中国	2月中旬から生産を再開し、日本や欧州の自動車メーカーにおける減産の影響を受けるものの、通常通りの稼働状況となっております。
韓国	通常通りの稼働状況となっております。

タイ	3月下旬より操業時間に制限あるものの、操業は継続しております。
インド	3月下旬から稼働を停止しております。政府のロックダウン宣言が延長されたこともあり現時点では生産再開の目途が立っておりません。
メキシコ	3月30日から政府の非常事態宣言を受け稼働を停止。非常事態宣言が解除されないため現時点では生産再開の目途が立っておりません。

3. 業績に与える影響

当社グループにおける2020年3月期の業績につきましては、中国・タイ・メキシコは連結会計年度が2019年1月～12月であり、業績への影響は出ておりません。日本・韓国・インドは連結会計年度が2019年4月～2020年3月ですが、当該期間における売上高減少への影響は限定的であり、2019年11月8日に開示した連結業績予想に対し、自動車安全部品事業の採算改善が進んでおらず下振れするものの修正するほどの影響はないと見込んでおります。

2021年3月期につきましては新型コロナウイルス感染症終息の目途が立っておらず、各国政府の要請や得意先の稼働状況等が不透明であることから、現時点においては合理的な算出が困難となっております。

引き続き今後の動向を注視し、合理的に予想可能となった時点において速やかに公表いたします。

以 上